

3 年次前期・必修

1 単位・30 時間

【概要・目標】

保健看護学を学んだ者として自己教育能力や探究精神を高めていけるように自ら動機づけをし、明らかになっていない現象に対して科学的に分析できるようになることが大切である。この講義では、保健看護研究を実践する上で必要となる量的・質的研究の方法、文献の活用、計画書の作成、データ収集と統計処理、論文の作成、倫理規範などに関する知識を深めるとともに、研究の各段階の具体的な進め方の実際について修得できるようにする。

【授業内容のスケジュール】

(担 当)

1) 保健看護研究総論	宮 井
2) 研究テーマと仮説の設定	宮 井
3) 研究計画の立案、計画書作成	宮 井
4) 量的研究の方法(1): 研究方法とデザイン	宮 井
5) 量的研究の方法(2): 対象集団の選定	宮 井
6) 量的研究の方法(3): データの収集方法(実験研究・準実験的研究・調査研究)	宮 井
7) 量的研究の方法(4): データの統計処理と図表の作成	宮 井
8) 質的研究の方法(1): 看護における質的研究の必要性・意義	岩 村
9) 質的研究の方法(2): 質的研究の種類と特徴	岩 村
10) 質的研究の方法(3): データの収集方法	岩 村
11) 質的研究の方法(4): データの分析方法	岩 村
12) 研究成果のまとめと論文作成	宮 井
13) 文献の活用と方法	宮 井
14) 文献検索の演習(医学中央雑誌などを用いて)	宮 井
15) 研究の倫理規範	宮 井

【評価】

受講態度(10%)、小テスト(10%)、レポート(10%)、筆記試験(70%)で総合的に判断する

【教科書】

授業時に資料を配付する

【推薦参考図書】

坂下玲子 著「系統看護学講座 別巻 看護研究」医学書院 2016

大木秀一 著「基礎からわかる看護疫学入門」第3版 医師薬出版株式会社 2017

グレッグ美鈴 他編著「よくわかる質的研究の進め方・まとめ方」第2版 医歯薬出版株式会社 2016

【その他】

連絡先: iwamura@wakayama-med.ac.jp (岩村)

miyain@wakayama-med.ac.jp (宮井)